

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券：時価のあるもの

決算日の市場価格に基づく時価法を採用し、評価損益は投資有価証券損益等で処理している。

(2) 引当金の計上基準

退職給与引当金は、当財団の規定に基づき、期末要支給額の100%を計上している。

賞与引当金は、当財団の規定に基づき、翌年度に支給する賞与のうち、支給対象期間が当年度に帰属する支給見込み額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース料の支払時に費用処理している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理については、税込み方式によっている。

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高 円	当期増加額 円	当期減少額 円	当期末残高 円
基本財産				
普通預金	0	0	0	0
定期預金	20,232,140	0	0	20,232,140
投資有価証券	952,197,144	79,577,962	0	1,031,775,106
小 計	972,429,284	79,577,962	0	1,052,007,246
特定資産				
退職給付引当金預金	3,601,900	774,000	0	4,375,900
小 計	3,601,900	774,000	0	4,375,900
合 計	976,031,184	80,351,962	0	1,056,383,146

(注) 投資有価証券の当期末残高の内訳は、次の通りである。

期末残高	取得価格 (円)	819,767,860
	時価評価損益 (円)	212,007,246
	帳簿価格 (円)	1,031,775,106

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高 円	(うち指定正味財産からの 充当額) 円	(うち一般正味財産か らの充当額) 円	(うち負債に対応 する額) 円
基本財産				
定期預金	20,232,140	(20,232,140)	0	0
投資有価証券	1,031,775,106	(1,031,775,106)	0	0
小 計	1,052,007,246	(1,052,007,246)	0	0
特定資産				
退職給付引当金預金	4,375,900	0	(4,375,900)	(4,375,900)
小 計	4,375,900	0	(4,375,900)	(4,375,900)
合 計	1,056,383,146	(1,052,007,246)	(4,375,900)	(4,375,900)